

## **教員養成の目標【研究科】**

### **人文社会科学研究科**

#### **【人文社会科学専攻】**

〔中専免（国語，英語，社会）・高専免（国語，英語，地理歴史，公民，商業）〕

人文社会科学専攻では，グローバル化と共生の時代に相応しい資質・能力を身につけた人文社会科学系の高度専門職業人として，我が国の文化の振興や経済・産業の活性化等の面から人間社会の発展に寄与する人材の養成を目的しており，その能力を兼ね備えた教員を養成する。それぞれの専門性を確立した上で，各教科の幅広い知識と教職に必要な知識を身に付けさせた資質の高い教員養成を目指している。

### **教育学研究科**

#### **【学校教育専攻】**

〔幼専免，小専免，中専免（国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，技術，家庭，職業指導，英語），高専免（国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，看護，家庭，職業指導，英語），特支専免（知・肢・病），養教専免〕

学校教育専攻では，教育学・教育心理学・幼児学・特別支援教育の分野に関する各分野固有の課題について，高度な理論と実践的能力及び教育的指導力を備えた人材の育成を目標とし，高度な資質能力を備えた教員の養成を目指している。

#### **【教職実践専攻】**

〔幼専免，小専免，中専免（国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，技術，家庭，職業指導，英語），高専免（国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，書道，保健体育，保健，看護，家庭，農業，工業，商業，職業指導，英語），養教専免〕

教職実践専攻では，青森県が直面している教育課題に対して，理論と実践との往還・融合を通じた省察をもとに，学校内外の専門家と協働しながら，その解決に向けた教育実践を創造しリードしていく教員の養成を目指している。

### **保健学研究科（博士前期課程）**

#### **【保健学専攻】**

### 〔高専免（看護）〕

保健学は、人間を身体的・精神的・社会的に全人的な存在としてとらえ、人々の健康について探求し、健康と福祉の向上に寄与する学問領域である。保健学研究科博士前期課程では“エビデンスの探求”と“インタープロフェショナルワーク”を基盤として、科学的根拠に基づいた保健学の確立に向けて、独創的な教育・研究を発展できる人材を育成することを目標に掲げている。

高専免（看護）が取得できる看護学領域では、看護の課題を自律的・科学的に探究し、看護学の発展に寄与する能力を育むことを目的としている。具体的には個人・家族・集団・地域の対象者に対して高度な看護を実践する能力、看護実践やケア環境の質の改善に向けて取り組む能力、ケア環境を改善する分析能力、多職種間の協働を推進する能力、看護実践に係る法制度による影響を考察する能力、看護学の教育環境改善に取り組む能力を育むための教育・研究を行っている。これらの教育理念を基盤とし、看護学及び保健学の使命に対する自覚を持ち、看護職者を目指す高校生に対して、教育学の理念や方法を基礎とした看護教育を実践・探求できる教員を養成する。また、高等学校5年一貫教育における指導的立場にある人材を育成することも目指している。

## 理工学研究科（博士前期課程）

### 【理工学専攻】

〔中専免（数学，理科）・高専免（数学，理科，情報，工業）〕

ますます高度化し、有機的にネットワーク化している現代社会の中で、科学・工学教育に携わるものは、学部で修得する基礎的専門知識ばかりではなく、大学院で修得する専門性の高い知識や幅広い学際的視野が必要とされる局面が多い。専門基礎を土台とした大学院教育では、十分な高度専門知識の修得は言うまでもなく、近年活発に行われている学際的研究の一端にも触れることで、幅広い視野の必要性を認識し、実体験としてそのような視点が養われると期待される。さらには、研究の過程で涵養される深い洞察力や表現力や論理的思考は、教育力を大いに向上させるものと期待される。垣根を低くし全体を眺められるコース制を敷いた本専攻では、幅広い視野と各コースの主たる内容に基づいた専門知識を身につけた資質の高い教員を養成していく。

## 農学生命科学研究科

### 【農学生命科学専攻】

〔中専免（理科）・高専免（理科，農業）〕

生物学分野から農学分野までの幅広い専門分野を擁する農学生命科学研究科農学生命科学専攻では、各専門分野の垣根を低くし、生命現象の基礎から応用研究まで、そして農畜産物の生産から流通まで、さらには地域環境の保全に至るまでの幅広い分野の学修が可能なコース制を敷き、各コースの主たる内容に基づいた専門知識を身に付けると共に複数の分野にまたがる実践的な知識を身に付けた資質の高い教員養成を目指している。